

オーストラリア、インド、日本の貿易大臣による
サプライチェーン強靱化イニシアティブに関する共同声明 (仮訳)

2021年4月27日

1. 日本の梶山弘志経済産業大臣、豪州のダン・ティーハン貿易・観光・投資大臣、インドのピコシュ・ゴヤル商工大臣は、2021年4月27日、ビデオ会議方式にて閣僚会合を実施した。
2. 閣僚は、新型コロナのパンデミックが、人命の喪失や、生活、経済への悪影響という点で前例のない衝撃を与えていること、また、パンデミックによって、世界的にも地域的にもサプライチェーンの脆弱性が明らかになったことを認識した。閣僚は、また、多様な要因により脆弱な状態に置かれているサプライチェーンがあることに留意した。
3. 昨年9月以降のオーストラリア、インド、日本のハイレベル協議に基づき、閣僚は、サプライチェーンの途絶を回避するため、リスク管理及び緊急時対応計画の重要性に留意し、サプライチェーンを強化するための決意を確認した。考えられる政策措置には次のものが含まれる。(i) デジタル技術の更なる活用を支援すること、(ii) 貿易・投資の多元化を支援すること。
4. 閣僚は、ここにサプライチェーン強靱化イニシアティブ(SCRI)を立ち上げる。閣僚は、SCRIの初期プロジェクトとして以下を実施し、本イニシアティブをさらに発展させるよう、事務方に指示をした。(i) サプライチェーン強靱化のベストプラクティスを共有すること、(ii) 投資促進イベントやバイヤー・セラーマッチングイベントを開催し、関係者がサプライチェーンの多元化の可能性を探る機会を提供すること。
5. 閣僚は、本イニシアティブをどのように発展させていくかについて協議し、SCRIの実施に指針を与えるために、少なくとも年に一度は日豪印経済大臣会合を開催することを決定した。閣僚は、産業界と学識者が本イニシアティブにおいて重要な役割を果たすことに留意した。閣僚は、本イニシアティブを前進させる必要があるときはできる限り多く会うように、事務方に指示をした。SCRIは、最終的に、地域における強固で持続性があり均衡のとれた包摂的な成長を実現するため、サプライチェーンの強靱性を高める好循環を生み出すことを目的としている。閣僚は、必要に応じて、コンセンサスに基づき、SCRIの拡大を検討していくことに同意した。

(了)